



八頭町立郡家東小学校 学校だより
ふるさとを愛し 志を立て 自立して生きる児童の育成



輝く瞳をもつ子供

第13号 R6. 2. 29
八頭郡八頭町稲荷310番地
TEL 0858-73-0010
FAX 0858-73-0011
E-mail
koge-e@mailk.torikyo.ed.jp



1年の終わりを間近にして

盛田里美

5年生と新1年生が秋に植えたチューリップの球根から、かわいらしい芽が次々と出てきました。春はそこまでやってきているようです。

令和5年度を振り返ってみると、1学期は仮校舎の工事と共に始まり、校舎とのお別れカウントダウンやお別れ壁画制作を行いました。5月には運動会と全校遠足の時期を入れ替えて、初夏の姫路公園で遠足を楽しみました。夏休みには台風7号の影響で郡家東小校区もたくさんの被害がありました。復旧工事が終わるにはまだまだ時間がかかりそうです。PTA 奉仕作業では、学校図書館の本を仮校舎に運んでいただきました。本の貸出冊数が増えたのは、地域や保護者の皆様の熱い想いが伝わったからだと思います。2学期は、本校舎とは比べものにならないくらい狭い仮校舎での生活が始まりました。子供たちは新しくて明るい校舎だと喜んでいましたが、参観日においでいただいたときは何かとご不便をおかけしたと思います。運動会は、仮校舎の分だけ狭くなったグラウンドで行いました。上学年がしっかりとリードし、はつらつとした子供たちの動きからは狭さなどは全く感じられませんでした。3学期は本校の一大イベントであるエンジョイ集会がありました。脈々と受け継がれてきたこの集会が子供たちにもたす力の大きさにとても感動しました。そして、大きな行事としては卒業式と修了式を待つのみとなりました。



3学期は卒業を前にした6年生と一緒に校長室で給食を食べました。8グループに分かれてやってきてくれたのですが、将来の夢や校区のお気に入りの場所などについて話しているとあっという間に時間がたってしまいました。「桜が咲いているときの野町からみる私都川」「家から見える夕日」「青龍寺」「看板をつくったフレンドセンター」「大樹寺の有楽椿」「姫路公園」などお気に入りの場所を語る子供たちをみていると、ちゃんとふるさとを愛する心が育っているとうれしく思いました。6年生がエンジョイ集会で歌った「水平線」は、コロナ禍で2020年のインターハイが中止になったとき、自分たちに何かできることはないかと考え、back numberの清水衣与吏さんがつくられた曲です。小学校生活の半分をコロナ禍で過ごした6年生がこの曲を選んだのは必然だったのだろうと感じました。「コロナを理由にせず限られた中でもできることをやりきる。」の精神で3年間を過ごし、最後の1年は仮校舎で締めくくる6年生。後にも先にも仮校舎で卒業を迎える郡家東小学校の児童は今年の6年生だけです。



春の訪れは待ち遠しく人生の節目である卒業は喜ばしいことなのですが、6年生とのお別れを思うと寂しさがこみあげてきます。3月19日には、みんなで心を込めて6年生を送りたいと思います。